

JASIS 2021 見聞録

(Japan Analytical & Scientific Instruments Show)

分析機器、科学機器メーカーが一堂に会する最先端科学・分析システム&ソリューション展 JASIS2021 が幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区）で開催されました（図1）。例年は9月上旬の水曜日から金曜日までの3日間でしたが、昨年開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染症拡大により今年に延期となり、またそれに伴う急な会場手配もあったことから、2021年11月8日（月）～11月10日（水）に開催となりました。この時期のコロナ感染状況は、8月中旬に感染のピークがあった第5波も9月には収束しつつあり、10月には緊急事態宣言やまん延防止等重点処置も解除されました。イベント開催の制限が緩和されていましたが、JASIS 2021 では昨年に引き続き万全を期したコロナ感染症対策が採られました。JASIS 2021 の入場者は合計8490名（1日目3041名、2日目2724名、3日目2725名）、出展者数は270社（機関）であり、出展者数は昨年と同程度、入場者は1200名ほど増加しました。コロナ禍以前の2017年から2019年では入場者が平均23987人、出展者数が平均492社（機関）であり、その頃に比べると半分程度となります。一方、「180日間、どこでも」出展、参加できるというコンセプトで2017年からウェブで開催されている JASIS WebExpo® の閲覧者数は、2017-2018 が3887人、2018-2019 が4818人、2019-2020 が11461人と年々増加しており、2020-2021 においては会期終了2か月前で既に10000人を超えていました。この閲覧者数は JASIS 2021 の入場者数より多く、JASIS がいち早く取り組まれたウェブと展示会のハイブリッド開催は、



図1 JASIS2021 展示会場の様子

コロナ禍だけでなく時代のニーズを捉えたものとなっていると感じました。

取材は開催2日目の11月9日（火）に行い、当日の10時頃に現地に到着しました。受付での混雑は見られず、WEB 事前入場登録が浸透したことと、会場入り口での体温チェックやアルコール消毒などがスムーズに行われるよう配慮されていたこと、そして係員の行き届いた対応によるものと感じました（図2）。展示会場に移動すると、適度な距離が保たれながらも多くの方が通路で行き交い、また、ブースで来場者が機器を見たり係員の方と話したりする様子を拝見し、例年見ていた JASIS の光景と同じで、それがとても懐かしく、そして嬉しく思いました（図3）。11時に事務局を訪ね、JASIS 委員会委員長の杉田隆通様、技術委員会委員長の杉沢寿志様、事務局長の若尾豪様から、プレス発表をベースに



図2 会場入り口のコロナ感染対策



図3 インフォメーションの様子
(特別な許可を得て撮影しています。また撮影時のみマスクを外しています。)

JASIS 2021 について丁寧に 1 時間ほどご説明いただきました。JASIS の未来に向けてのメッセージは“「測る」が支える未来の社会～ゆたかな暮らし、産業・科学の発展を支えるとともに、さまざまな連携によるイノベーションの機会を創造していきます。未来に向かって…～”です。これは、JASIS が With コロナ、脱炭素、災害など様々な社会課題の解決につながるヒントを見つけ、ビジネスチャンスを生み出す場になるという想いが込められています。

さて、JASIS でのセミナー見どころについては、四つご紹介いただきました。一つ目は、昨年までの主催者企画セミナー、オープンソリューションフォーラム、JASIS セミナーなどを一つにした「トピックスセミナー」です。これは、「現在社会に求められている様々な課題解決」にかかわるトピックスを分析・科学機器業界注目のテーマごとに専門家や有識者が講演・解説するものです。当日の混雑を避けるため Web での事前申込となっていました。会期前に既に満席だったそうです。また、JAIMA セミナーの「これであなただけの専門家」は例年とても人気がありますが、このタイトルこそ今年に使われていないものの、「機器分析の基礎」というテーマで三つ講演がありました。一部セミナーを除き 2021 年 11 月下旬より JASIS WebExpo®にてアーカイブ配信されるので、ご興味のある方はぜひご視聴ください。

二つ目は、トピックスステージで、そのねらいは「JASIS のテーマとメッセージ発信の強化」、「セミナー講演者との距離感を縮める」、「出典企業の良さを来場者の方に伝える」の三つです。具体的な企画は次の三つで、トピックスセミナーの講師がステージに登壇してディスカッションや交流ができる企画、出展社がリレー



図 4 JASIS トップステージ会場



図 5 ポイントラリープレゼント引換カウンター
(特別な許可を得て撮影しています。また撮影時のみマスクを外しています。)

形式で最大 2 分間新製品・新技術を紹介する企画、そして、お客様に聞いた個性派企業・製品技術を紹介する企画です(図 4)。撮影時は準備時間でしたが、別の時間帯に伺った際には多くの聴講者が詰めかけ盛況な様子でした。

三つ目はポイントラリーです。ウェブサイトにポイントラリーが導入され、公式サイト上での事前来場登録、来場者専用ページへのログイン、来場者証の印刷、出展者紹介ページ、出展者への問い合わせなどにポイントが付与されるようになりました。当日会場への来場の動機付けとなり、また、来場者と出展者の積極的なコミュニケーションが生まれる機会にもなっておりました(図 5)。

四つ目は JASIS WebExpo® の内容の一新です。目的のコンテンツへより到達しやすく、そしてバーチャル感を出し、会場内を回遊しやすくされました。冒頭でも述べたとおりで多くの閲覧者があり、また、JASIS WebExpo® 2020-2021 の満足度についてのアンケートでは、約 87 % の方が「満足」または「やや満足」と回答され、利用者の評価が高いことも伺い知ることができました。

2022 年の JASIS は例年どおり 2022 年 9 月 7 日(水)～9 日(金)、場所は今年と同じ幕張メッセで開催されます。また、JASIS 関西 2023 も開催予定とのことです。これは第 2 回目となります。ぜひ、足を運んでいただければと思います。

最後になりましたが、取材にあたり、開催中のお忙しいところ貴重なお時間をいただいた JASIS 委員会及び事務局の皆様、運営に携わられた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

日本大学生産工学部 齊藤和憲
国立研究開発法人産業技術総合研究所 津越敬寿